

なのはな米1等比率95%以上!!

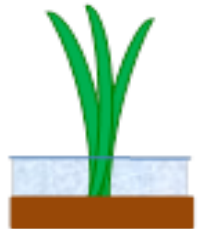
高品質な“なのはな米”の生産に向け、稲体を支える土台となる「根」をしっかりと育てることが大切です。**浅水管理**や**溝掘り・中干し**など生育に応じた水管理を適切に行いましょう。

中干しまでの水管理

中干しまでは水深3cm程度の**浅水管理**を行い、分げつの発生を促しましょう。

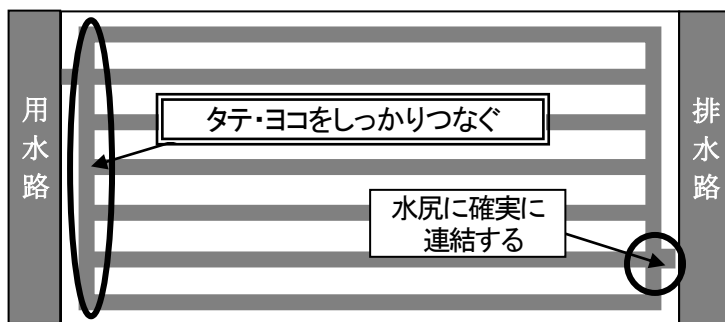
<浅水管理のポイント>

- ・入水は朝か夕方に行い、日中は止水で田水温の上昇に努めましょう。
- ・強風や低温時には5cm程度の深水にし、天気回復後は速やかに浅水管理に戻しましょう。
- ・藻が発生している場合は、**水の入れ換え**を行きましょう。また、田がわいている場合は、**1~2日**程度の軽い田干しを行きましょう。



溝掘り

溝掘りは、ほ場を均一に干すだけでなく、**生育ムラの解消**や**短時間の通水**等にも有効な作業です。中干しやその後の間断かん水を効果的に行うため、**6月上旬までに必ず溝掘り**を行きましょう。



溝掘りをしないと、ほ場内の乾きにくい場所で排水が遅れて、適期収穫に支障をきたす恐れがあります。



溝掘りをしなかったほ場の収穫時の水たまり

<溝掘りのポイント>

- ・溝の形が崩れないよう、軽く田干しを行って泥を固めた後、**10~15条に1本の割合**で溝を掘る。
- ・タテ溝とヨコ溝をしっかりとつなぎ、水尻は確実に連結する。

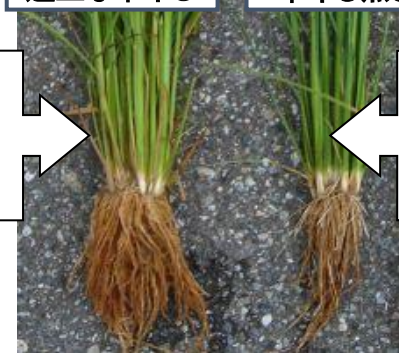
中干し

6月に入ると根の伸長が活発な時期になってきます。田植後1か月以内を目安に**中干し**を開始し、直下根をしっかりと伸ばすとともに無効分げつの発生を抑えましょう。

また、出穂後20日間の湛水管理に備え、コンバイン作業の地耐力確保のため、**この時期に確実に田面を固め**ましょう。

適正な中干し 中干し無し

- ・葉が直立
- ・茎が太い
- ・根量が多い



- ・下葉が枯れる
- ・茎が細い
- ・根量が少ない

◎中干しの目安

	普通乾田	水はけの悪いほ場、粘土質田、大豆跡田
中干しの開始時期	田植後1か月までに 中干し を開始	
中干しの期間	3~5日間程度	5~7日間程度
中干しの仕上げ程度	長靴が沈まない程度 田面に 小さな亀裂 ができるまで 	強めの中干し 田面に 大きな亀裂 ができるまで

◎5月15日田植えの作業の目安

6月5日頃 (田植後3週間頃)	12日頃 (軽い田干し開始後1週間頃)
浅水管理	溝掘り → 中干し開始

中干し終了時の目安

ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度



干し過ぎると、稲の生育にダメージを与えます。数回に分けて適度に田干しを行いましょ！

裏面へ続く

中干し後の水管理

- 中干し後から幼穂形成期頃までは湛水と落水を繰り返す**間断かん水**を行い、土中のうわ根をしっかりと伸ばしましょう。
- 生育量が多い場合は過剰籾数や倒伏を防ぐため、**強めに田干し**（落水期間を長く）をしましょう。
- 幼穂形成期頃までに**足跡の深さ3cm程度の硬さ**に誘導しましょう。

珪酸質資材の施用

稲の茎葉を丈夫にし、登熟を高めるため、珪酸質資材を施用しましょう。
特に肥効調節型基肥は加里成分が不足するので、この追肥で補給して下さい。

施肥体系（使用基肥肥料）		肥料名	10a 当たり施用量	施用時期
分施	（なのはな有機基肥）	エスアイ加里らくだ	15kg	6月中旬～下旬
	（基肥555）	太陽のめぐみ	20～40kg	
肥効調節型基肥	（なのはな一発基肥など）	エスアイ加里らくだ	15kg	
		BBPKケイ酸	20～40kg	

後期除草剤の散布

- 雑草が残った場合は、雑草の葉齢を確認し、遅れずに散布しましょう。
- 湛水散布する除草剤は除草効果を高めるため散布前に軽い田干しを行い、水の入替えを行ってから散布しましょう。
- 除草剤散布の際には、周辺の作物に飛散しないよう注意しましょう。

◎除草剤使用基準（移植水稻の場合）

雑草の状況	除草剤名	10a 当たり散布量	散布時期	使用回数	使用上の注意
ノビエ が残った場合	クリンチャー 1キロ粒剤	1kg	田植後7日～ ノビエ4葉期 まで (収穫30日前まで)	2回以内	<ul style="list-style-type: none"> 散布の際は5cm程度に湛水する 散布後5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水・かけ流しをしない
		1.5kg	田植後25日～ ノビエ5葉期 まで (収穫30日前まで)		
	ヒエクリーン 豆つぶ250	250g	田植後15日～ ノビエ4葉期 まで (収穫45日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 散布の際は5cm以上の深水とし、水田周縁部に沿い散布する 散布後、5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水・かけ流しをしない
	トドメMF乳剤	200ml 希釈水量 100l	田植後14日～ ノビエ7葉期 まで (収穫50日前まで)	2回以内	<ul style="list-style-type: none"> 落水散布または湛水条件で散布する。 湛水条件で散布する場合は、水深3～5cm程度を3～4日間保ち、散布後7日間は落水・かけ流しをしない
広葉雑草 が残った場合	バサグラン粒剤	3～4kg	田植後15～50日 (収穫60日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 雑草が露出する程度の浅水とし、晴天日を選んで散布する 散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう水尻は必ず止めておく 雑草の多い部分にスポット散布も可
ノビエと広葉雑草 が残った場合	ワイドアタックD 1キロ粒剤	1kg	田植後25日～ ノビエ4.5葉期 まで (稲4葉期以降、 収穫60日前まで)	1回	<ul style="list-style-type: none"> 散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させない 完全に枯死するまでに3週間以上を要することがある
	クリンチャーバス ME液剤	1,000ml 希釈水量 70～100l	田植後15日～ ノビエ5葉期 まで (収穫50日前まで)	2回以内	<ul style="list-style-type: none"> 晴天日を選び、落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する 散布後3～4日は入水・落水をしない

★なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています★

<情報提供内容>

- ・栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報や災害防止対策、栽培管理等の情報
- ・その他必要と思われる情報

★営農情報提供サービスへの登録はこちらから
(QRコードにスマホ等をかざして必要な情報を登録してください)

